

KUMA FOUNDATION
CREATORS SCHOLARSHIP
5th GENERATION CREATORS PROFILE

2021-2022



KUMA FOUNDATION
CREATORS SCHOLARSHIP
5th GENERATION CREATORS PROFILE

KUMA FOUNDATION
CREATORS SCHOLARSHIP
5th GENERATION CREATORS PROFILE



東京理科大学大学院 修士1年(22歳)

青木 快大

KAITO AOKI

建築 / 宇宙

宇宙建築学サークル TNL 在籍 (2018 ~)
HoSP 在籍 (2020 ~)
「卒、21」10選 & 「川島範久賞」

1999年生まれ。福島県郡山市出身。東京理科大学大学院理工学研究科建築学専攻在籍。高校3年時から宇宙建築に興味を持ち、修士1年である現在まで個人的に研究を続けてきた。「宇宙という地球とは全く異なる環境で、人間が快適に暮らせるような空間を設計したい」という思いがあり、人間と建築の関係を研究する建築計画学の観点から宇宙建築にアプローチしている。



東北芸術工科大学 修士2年(23歳)

青山 夢

YUME AOYAMA

絵画

ART AWARD TOKYO MARUNOUCHI 2020 (丸の内賞)
みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ 2020
3331 ART FAIR 2019 アーツ千代田 3331

1997年茨城県生まれ。これまで、山形県村山地方の供養習俗であるムカサリ絵馬の取材を通し、人々が暮らす環境の中で、人の死を思う人間の普遍的な形式をモチーフにして作品をつくってきました。現在は、治癒と破壊の両義性ある人間と自然の関わりに興味を持ち、現代生活を神話学的思考で捉え表現する作品でのアプローチを試みています。

KUMA FOUNDATION
CREATORS SCHOLARSHIP
5th GENERATION CREATORS PROFILE



東京藝術大学大学院 修士2年(23歳)

東 弘一郎

KOICHIRO AZUMA

メディアアート / 現代美術

第24回 岡本太郎現代芸術賞 (TARO 賞) 入選
LUMINE meets ART AWARD 2019-2020 推薦作家
宮田亮平賞金賞

1998年 東京都生まれ。東京藝術大学 大学院 美術研究科 先端芸術表現専攻 在籍。
自転車と金属を組み合わせて、主に動く立体作品を制作している。



東京音楽大学大学院 修士2年(23歳)

麻生 海督

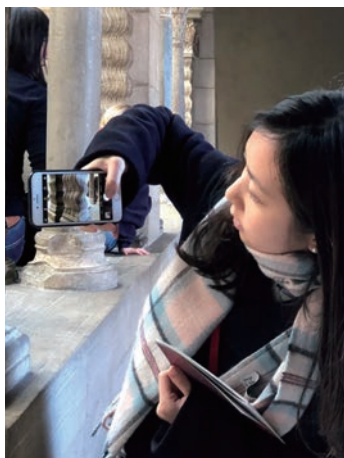
KAITO ASO

音楽 / クラシック・同時代音楽

第22回 ワイマール春の日現代音楽祭にて作品再演
2021年3月自身初のマルチメディア作品初演
国立台北藝大 & 東京音大交流演奏会にて作品再演

作曲家、音楽家。クラシカルな作品を中心に電子音楽、ポピュラーサウンドなど幅広い音楽を製作。現在は、邦楽器と西洋の楽器との共存をテーマにした作品制作も行っており、国内外で演奏されている。東京音楽大学音楽学部作曲専攻卒業。現在東京音楽大学大学院音楽研究科作曲研究領域修士課程在学中。主な賞歴に、第16回東京音楽大学学長賞、第26回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第2位並びに畑中良輔賞など。

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE



Harvard GSD 修士1年(23歳)

安達 麻耶
建築

MAYA ADACHI

UCL Group Exhibition "MATTER"
グリネルカレッジ、芸術史(建築)研究助手

2021年Grinnell College卒業、同年8月からHarvard Graduate School of Designにて建築を学ぶ。学部時代は芸術史、環境科学、心理学を組み合わせた独自の専攻を創設し、建造物の人や社会構造に与える影響を多角的に研究した。大学院では、孤児院や少年院、シェルターなどの「住む場所を選択できない人のための建築」を追求していきたい。



東京藝術大学 学士2年(20歳)

AHMED MANNAN
絵画 / 美術家

AHMED MANNAN

タカソメタニ ギャラリー
包まれた触れ幅 四谷未確認スタジオ

2000年生まれ 現在東京藝術大学在学中。
身の回りの衣類や過去に使っていた物などを一から構築し直すことによって支持体を成形し、そこに即興的に絵具を重ねモチーフかつ記号の様な曖昧な何かを描いていく。その様相や、それに至るまでの支持体を作っていく工程の行為性は、自分が住んでいる場所や世界において駆動する単一的な分類社会に対しての一個人としての絵画を用いたカウンター、応答でもある。

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE



情報科学芸術大学院大学(IAMAS) 修士2年(23歳)

天野 真
メディアアート / AI

MAKOTO AMANO

文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品
MAT 2020 出展
UIST2018 SIC 最優秀賞 受賞

1997年福岡県生まれ。情報科学芸術大学院大学メディア表現研究科(IAMAS)在学中。
「社会に実装されたAIに対する抵抗」をテーマに、メディアアート作品の制作を行う。AIを誤用することを通して、メディアを介した人と環境の関係を探る。



Carnegie Mellon University Ph.D.1年(24歳)

荒川 リク
テクノロジー / Human-Computer Interaction

RIKU ARAKAWA

SXSW 展示(2019)
HUNTER×HUNTER とコラボした音声変換技術の展示(2019)
国際バーチャルリアリティコンテスト, Laval Virtual 賞(2019)

1996年東京生まれ。東京大学および大学院で情報技術を専攻後、現在はアメリカのCarnegie Mellon UniversityでHuman-Computer Interaction(HCI)の研究を行う。HCIに関する論文執筆を行う傍ら、テクノロジーを活用した表現や体験の製作にチャレンジ中。

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE



東京藝術大学大学院 修士課程2年(休学中)(25歳)

Yeji Sei Lee Yeji Sei Lee 絵画 / トラベラー

Yeji Sei Lee Solo Exhibition "Geographica" 2021
A-TOM Art Award 受賞
上野芸友賞 受賞

1995年東京都生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科
絵画専攻在籍。アジアを中心とした旅先でのリサーチを
基に、多角的な視座でナショナルリティーと生活の場との
関係性を常に探求している。その経験と意識を美術とい
う方法でどの様に思考し、可視化してゆくのか、そのた
めに絵画組成の物質的側面と私自身の精神性の合一を
実現できるかという問題を創作の原点においている。



桑沢デザイン研究所 2年(25歳)

井下 恭介 KYOSUKE ISHITA プロダクトデザイン

TBDA2020 / 最優秀賞・優秀賞
LDA2020 / ショートリストノミネート
若 mono デザインコンペディション燕 / 大賞

1995年生まれ。大手自動車メーカーのエンジニア職
を経たのち渡米し、ニューヨークのParsons School
of Designへ留学。ファッションデザインを専攻し
インターン等で経験を積む。帰国後、桑沢デザイン研
究所へ入学しプロダクトデザインを学びながら、
様々なデザインワークを行なっている。

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE



慶應義塾大学 博士2年(25歳)

石原 航 KO ISHIHARA メディアアート

企画展 BUG4ASSにて「無能HMD@tos」を実施
Ars Electronica 2018 Future Innovator に選出
六本木ミッドタウン未来の学校祭にて虚構大学SFCの設立と信用スコア入試を実施

今の小綺麗なデジタル社会に、よこしまなことを創
造的に行える余白をつくりたい。
信用や分人をテーマに超信用社会におけるデジタル
コミュニティの可能性を思索、研究している。
主な作品として「他人のアカウントにログインでき
るSNS Hack In」など。



早稲田大学 修士2年(23歳)

イナサカ マリナ MARINA INASAKA 建築 / エンジニアリング / サイエンス

2019年度早稲田大学卒業計画大隈審査会：銀賞
SDL: Re-2020：審査員賞(金田充弘氏)
第7回都市・まちづくりコンクール：審査員賞(北側啓介氏)・岸トラベル賞

ニュージーランドの牧羊場で体感した“においの世界”に魅了
され、現在は建築環境工学を専門とし室内空気質に纏わるに
おきの研究を行っている。嗅覚情報の享受に影響を与える
光・温熱・気流・音などの「見えない物を操り、感情を喚起
させる非視覚体験の設計」を行うことが主題である。時間や気
候の変化によって複雑な“嗅い(におい)環境”が醸成される
“嗅い建築”(においけんちく)の実現に向けて奮闘している。

KUMA FOUNDATION
CREATORS SCHOLARSHIP
5th GENERATION CREATORS PROFILE



東京藝術大学 院2年(23歳)

乾 真裕子

MAYUKO INUI

映像 / パフォーマンスアート

2019、2020年「Stilllive」参加

2020年「彼女たちは歌う」出展

2021年「YOUNG ARTIST EXHIBITION」出展

フェミニズムやクィア理論を手がかりに、自身の身体を用いた映像作品およびパフォーマンスを制作している。近年は自分の身体を用いて制作する際に立ち現れてくる政治性について関心を抱いている。身体が持つ可能性に着目しながら、作家自身がかぐや姫や歌手といった架空の人物像に扮する作品を制作している。



名古屋市立大学 博士前期課程1年(23歳)

今井 健人

KENTO IMAI

VR/AR/MR/xR/ インタラクション/ 認知科学/ メディアアート

注文の多い「からだの錯覚」の研究室展 出展

Best Illusion of The Year Contest 2020 Top10 ノミネート

名古屋市立大学芸術工学部 imd 学科賞 2020 受賞

1997年愛知生まれ。認知心理学において重要な概念である「身体所有感」に対する理解を軸に、現実空間での「身体の見え方」を考案し、身体内部に直接アクセスするようなインタラクション装置の制作を通して、未知なる「からだ」のリアリティを探索している。名古屋市立大学大学院芸術工学研究科小鷹研究室在籍。

KUMA FOUNDATION
CREATORS SCHOLARSHIP
5th GENERATION CREATORS PROFILE



東北芸術工科大学 大学院 修士1年(22歳)

上原 あかり

AKARI UEHARA

版画

2020年 第45回全国大学版画展 優秀賞

2021年 栃木県鹿沼市立川上澄生美術館 個展

1999年栃木県生まれ。版画家。主に塩化ビニール製の板に直接描画する「ドライポイント」という版画技法で作品を制作。「心の宝石」をテーマに、夢幻的な透明感を追求している。無色の塩ビ板に「夢」や「記憶」といった不確かなものの気配を投影し、ニードル(針)による繊細な描写と豊かな色彩表現で幻想世界を創造する。



多摩美術大学大学院 修士課程2年(23歳)

臼井 達也

TATSUYA USUI

メディアアート / ポストインターネットアート

美術手帖 2021 ニューカマー・アーティスト特集掲載

第26回学生CGコンテストアート部門ノミネート

2019年度多摩美術大学卒業制作優秀作品に選出

1997年東京生まれ。多摩美術大学大学院在籍。インターネットを通じた新しい消費活動とそれに順応する私たちとの関係性や、そこから生成されるイメージのあり方や質感について探究している。主にインスタレーションや映像、写真などの手法を扱い作品制作を行う。

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE



東京藝術大学 博士1年(25歳)

袁 方洲

FANGZHOU YUAN

彫刻 / 工芸 / メディアアート

第14回 大分アジア彫刻展 優秀賞

第24回 岡本太郎現代芸術賞展 入選

第1回 宮若国際芸術トリエンナーレ トライアート 入賞

中国遼寧省出身。東京藝術大学大学院美術研究科博士
後期課程に在籍。東京、北京を中心に活動している。
ガラスや木など多様な素材やメディアを用いて、主に
立体やインスタレーション作品を制作している。



金沢美術工芸大学 大学院 修士2年(23歳)

遠藤 茜

AKANE ENDO

工芸

第40期 国際瀧富士美術賞 / 優秀賞

国際工芸アワードとやま / 入選

1997年岡山県生まれ。金沢美術工芸大学大学院
美術工芸研究科 工芸専攻 漆・木工コース在籍。
主に漆を用いて、家・労働・複製性をテーマに立体
作品を制作する。漆の独特な制作プロセスに着目し、
より創造的でラフな工芸作品を制作することを目的
としている。

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE



早稲田大学 学士5年(22歳)

大塚 健太郎

KENTARO OTSUKA

舞台芸術

『どさくさ』(落語『粗忽長屋』を翻案)

『ソネット』(シェイクスピア『ソネット集』を翻案)

『流れる』(能『隅田川』を翻案)

1998年生まれ。神奈川県出身。劇作家、演出家。劇団
あはひ主宰。早稲田大学文学部在学中。古今東西の文
学作品を題材に、それらを解体し、再構築する作劇手
法は、「きわめて現代的な、ヒップホップ的感性によ
る方法」として注目されている。



島根大学 大学院 修士2年(23歳)

岡野 元哉

GENYA OKANO

建築

2020(卒業設計日本一決定戦・日本1位+野老朝雄賞)

2019(木育プロジェクト・林野庁主催ウッドデザイン賞受賞)

2018(中国電力主催住宅設計コンペ・最優秀賞)

『自然環境×建築』によって『豊かな人間生活』の提案
を目指している。

14歳で日本貝類学会誌に査読論文を投稿するなど
の経験から、自然科学の知識を活かした建築作品を
世の中に発表してきた。

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE



東京芸術大学 学部4年(21歳)

奥村 研太郎 KENTARO OKUMURA 絵画

Remix ('20/12 @3331 アーツ千代田)
装置とは限らない ('19/12 @ 芸大陳列館)
"/展 ('19/12 @ 芸大絵画棟)

生命活動を視覚化したい。この「生きている感じ」をどうにかして作品にしたい。1時間でも2時間でも眺めていられるようなものを作りたい。そういうことを考えながら空間に展開する美術作品を作っています。「生きている感じ」の奥底にあるのは「翻訳」という行為なのではないか。そう思ったので、これからのテーマは「翻訳」となります。絵画、彫刻を用いて翻訳行為の解釈を視覚的に考えていきます。



東京工業大学 修士2年(25歳)

鹿島 理佳子 KASHIMA RIKAKO インスタレーション

CAF 賞 2020 金澤顕審査員賞受賞
第39回三菱商事アートゲートプログラム 入選
トーキョーワンダーシード 2018 入選

1996年東京生まれ。武蔵野美術大学油絵学科卒業、東京工業大学大学院・伊藤亜紗研究室在籍。人間の身体とイメージの関係に関心を持ち、プリントや映像などの「画像」を用いた作品の制作と幻肢当事者の身体感覚の研究を並行して行い、イメージによって拡張しうる人間の感覚を探索している。

Photo by Kaori Nishida

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE



多摩美術大学 学士4年(21歳)

カナイガ kanaiga プロダクトデザイン / アイデア

「ガチャっと!」ガチャプランナー

1999年生まれ。多摩美術大学情報デザイン学科情報デザインコース在学中。
へんてこなアイデアを考えて形にすることが好きで、主にダジャレや食べ物をモチーフとした作品を制作し、SNSなどで公開している。



東京工芸大学大学院 修士2年(23歳)

金田 剛 TSUYOSHI KANEDA 写真

2020年 T3 STUDENT PROJECT、グランプリ
2020年 写真新世紀、優秀賞(瀧本幹也選)

1997年新潟県生まれ、東京都在住。東京工芸大学大学院芸術学研究科メディアアート専攻写真領域在籍。作品のコンセプトに関連した緻密なリサーチを元に、架空の出来事や物語を写真によって再現し、リアリティーのあるフィクションを追求している。主な受賞歴に、写真新世紀優秀賞(東京都写真美術館、2020)、T3 STUDENT PROJECT グランプリ(東京、2020)など。

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE



尾道市立大学 修士2年(23歳)

木原 幸志郎 KOSHIRO KIHARA
絵画

第16回 タグポートアワード 徳光健治賞

1997年兵庫県生まれ。「具象」と「抽象」、「瞬間」と「永遠」、「真実」と「虚構」などといった対立する要素を一つの画面に同居させることで、その境界について考えを巡らせることができる油彩作品を制作している。現在、尾道市立大学大学院美術研究科美術専攻に在籍。同大学院在籍の双子の弟、健志郎と共に、世界を見据えて制作活動を行なっている。



放送大学 3年生(24歳)

久坂 蓮 LEN KUSAKA
小説 / 詩 / 文章表現

第13回 深大寺恋物語 候補(2017)
第56回 現代詩手帖賞 候補(2018)
第31回 伊藤静雄賞 佳作(2020)

わたしは、ノンバイナリーという女性でも男性でもない性自認を持っています。歯ざれのよい言葉で領域を分断したさいに、かならずその枠からこぼれおち、無かったことにされてしまうものがあると自身のジェンダーをもって体感してきました。それは《詩》や《小説》・《芸術》といった分類においても同様です。大勢のひとに伝わるようにではなく、たったひとりの読み手にとどけるために言葉をつかいたくて、文章表現をしています。

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE

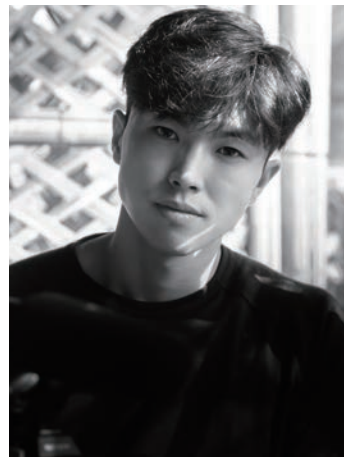


東京藝術大学 修士1年(25歳)

黒瀧 舞衣 MAI KUROTAKI
彫刻 / 木彫

2021年 武蔵野美術大学卒業制作 優秀賞

1995年北海道生まれ。東京藝術大学大学院 美術研究科 彫刻専攻 在籍。「木の柱を建てる」という行為を通して自身のルーツや土地の成り立ちを探る。北海道や、北東北で暮らした経験から土着の文化や民間信仰、神話を木彫の伝統的な技法「寄木造り」でモニュメンタルに彫り起こす。郷土玩具や民芸品を収集、研究している。



慶應義塾大学 2年(22歳)

KONY (小西遊馬) KONY
ドキュメンタリー

ロンドン国際映画祭オフィシャルセレクション
Asians on film festival / 国際平和映像祭 アワード受賞
ニューヨーク国連本部 PLURAL+ 招待

Yahoo!やNHKでドキュメンタリーを制作、ジャーナリストとして記事も発信。
これまでバン格拉ディッシュの繊維工場や気候難民、売春や黒人差別、香港デモなどを取材。慶應義塾大学に在学しながら映像の他に、TEDやサステナブルブランド国際会議での登壇、Forbesや日テレNEWS24、NHKなどでコメンテーターとして出演するなどし、自ら声をあげることも積極的に行っている。

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE



東京藝術大学大学院 修士1年(22歳)

小林 さらん SARAN KOBAYASHI 彫刻

2021年 東京藝大アートフェス 優秀賞
2021年 新潟県美術展覧会 奨励賞

1998年生まれ。「望郷」をテーマに彫刻作品を制作する。「個人の小さな物語を突き詰めれば、大きな感情に到達するのではないか」という仮定の下、拉致や隔離制作など歴史的事件の渦中にあった人々の人生を調べ、その感情を追う。彫刻の制作にあたって詩によるドローイングも行い、言葉と彫刻の関係やその可能性を探っている。「故郷の代わりとなる、居てもいい場所」また「空間を通した共感」を創ることを目標として活動する。



ベルリン芸術大学大学院 アブソルベント課程1年(25歳)

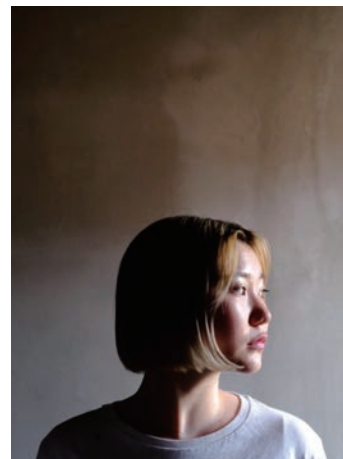
小林 颯 hayate kobayashi 映像

第24回文化庁メディア芸術祭 アート部門 新人賞
CAF 賞 2020 ファイナリスト
第24回学生 CG コンテスト 大山慶評価員賞

1995年生。ドイツ・ベルリン在住。東京藝術大学大学院メディア映像専攻修了。現在、ベルリン芸術大学大学院アートアンドメディア在籍。器として映像を捉え、自作の装置から新たな映像の形態を探る。小学生の夏、近所のおじさんが映写機片手に駐車場の壁へ上映していた。色褪せた像や霞んだ爆音、当時の私は巨大な映像を全身で感じた。それから私は展示の度に、そのかつての原風景—映像の崇高さ、湿度、声が、頭に通り、蘇る。

Photo by Kaori Nishida

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE



東京藝術大学 修士2年(24歳)

斉藤 七海 NANAMI SAITO 彫刻 / 現代陶芸

陶芸の森 アーティストインレジデンス 2021
宇宙船地球号展 2019 (片岡真実氏キュレーション)
ULTRA AWARD 2016 (長谷川佑子氏キュレーション)

1996年大阪生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻 在籍。現代美術としての陶芸の可能性を模索しつつ、西洋哲学や自然現象をインスピレーションに陶芸作品を制作している。



早稲田大学 修士1年(23歳)

櫻井 悠樹 YUKI SAKURAI ファッション / 建築

2020年度早稲田大学卒業設計 金賞
赤れんが卒業設計展 2021 最優秀賞

早稲田大学大学院創造理工学研究科建築学専攻在籍。建築を学ぶ傍ら、独学で服を制作し衣装提供などを行う。身体と周囲の有機的な関係を軸に、服そのものが強い空間性を持つ造形を思考する。デザイン・技術の両面においてファッションと建築の横断を目指す。

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE



札幌市立大学 学士3年(21歳)

SHOW-GO SHOW-GO 音楽 / ビートボックス

TEDxSapporo 出演
TBS マツコの知らない世界 出演
GBB2018, 2019 出場

1999年札幌生まれ。中学生のときにBeatboxと出会い、その後YouTubeにて独学で習得。高校生のときから国際大会への出場やYouTube上での作品制作をはじめ、現在はBeatboxを軸に幅広い音楽活動やデザイン活動を行なっている。京都が好き。



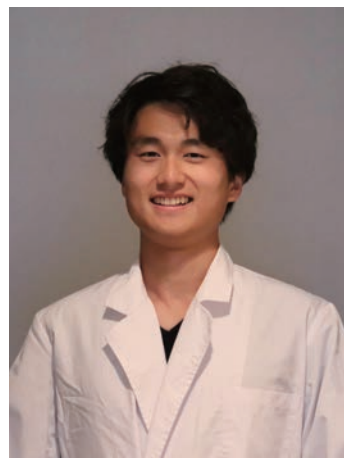
東京芸術学園 音響芸術専門学校 1年(21歳)

シン・オカダ Shin Okada 音楽 / ネオ他力本願系 / パフォーマンス / 本人不在

「マイナビ未確認フェスティバル2019」2次審査
「日本コロムビア×cue『Promimi』」入賞
「CHACCA CHALLENGE」優秀賞

1999年生まれ。5年以上の不登校・引きこもり期間を経て2018年夏よりアーティスト「シン・オカダ」として活動開始。ステージに「本人が出てこない」というパフォーマンスが特徴。目標としているアーティストはDaft Punk。
2020年9月高卒認定試験合格。現在は音響芸術専門学校 録音・PA技術科在学中。

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE



東京工業大学 修士1年(22歳)

鈴木 大輔 DAISUKE SUZUKI サイエンス / バイオアート

2018 WET Excellent Presentation Award
平成30年度高専機構学生表彰 理事長賞
平成30年度 日本化学会関東支部支部長賞

1998年生まれ。東京都出身。専門は環境毒性学、生命情報学。ヒトに共生する微生物群集構造と疾患の関係について研究している。ヒトにとって最も身近な微生物の可視化を通して、ヒトのアイデンティティを問う。東京工業大学大学院にて、知的好奇心に身を委ねた生活を送る。夢は宇宙へ行くこと。



東京藝術大学 修士1年(22歳)

suma suma 絵画 / 落書き

suma 個展「UZO MUZO」

1998年北海道生まれ。東京藝術大学大学院 美術研究科 絵画専攻 版画在籍。新聞やチラシをはじめとした消費される印刷物とキャラクターなどの落書きによる複合的表現を用いて、個性を持たないものに「遊び」を通して個性を見出し、そこから人の持つ様々な形の「遊び心」を探究している。使用版種はシルクスクリーン。

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE



サクロ・クオーレ・カトリック大学 博士1年(24歳)

関野 佳介 KEISUKE SEKINO

映画 / 監督、脚本、音楽

第74回サレルノ国際映画祭
短編部門出品・上映『ラベンダー家族』(2020)

1996年生まれ。映画作家。上智大学外国語学部イスパニア語学科在学中に映画制作を始め、現在はミラノの大学院でScreenwriting and Productionを専攻中。他者と協力して作る劇映画やドキュメンタリーに加え、個人では自身の生活に根ざした映画制作にも取り組む。「価値観は人それぞれ違い、自分は自分の視点でしか語れない」ということを常に意識しながら、謙虚な作品作りを目指す。



東京藝術大学 博士1年(24歳)

曾 斯琴 SIQIN ZENG

工芸 / 染織 / イラスト

東京藝術大学 卒業・修了作品展 買上賞
東京藝術大学 安宅賞
11th International Fiber Art Biennale 2020

1996年中国湖南省生まれ。清華大学美術学部工芸専攻卒業。現在、東京藝術大学大学院美術研究科、工芸染織専攻博士後期課程在籍。伝統染織・工芸技法を根底とし、現代の生活や消費との接点としてのデータを活用したり、ワークショップの形でプロジェクトを実行したりして、社会と人々の関連性を求め、現代生活に溶け込む美しい工芸作品を創り出すことを目指している。

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE



東京藝術大学大学院 院1年(24歳)

高橋 健太 KENTA TAKAHASHI

絵画

A-TOM ART AWARD 2018 グランプリ
東京藝術大学 安宅賞
個展 “SAVE NOW”

1996年宮崎県生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科 在籍。
主に日本画材を用いて制作。岩絵の具を粒子の集積で描画されるラスタ的な技法材料と捉え、ミニマリズムとデジタルイメージの関係性や日本画という形式の可能性について考察を続けている。



東京藝術大学 修士2年(25歳)

高橋 星乃 HOSHINO TAKAHASHI

メディアアート / サイエンス / 立体 / インスタレーション / デザイン

2020年 個展 / Gallery TK2 (東京日本橋)
2021年 群馬アートオークション
2019年 工芸とアートの金沢オークション

図形(点・線・面・立体、それらの集合のこと)や数字、光を使った作品を制作。メディアの制限を設けずに、扱うテーマの魅力を最大限に伝えるための表現方法を模索していく。東京工業大学附属高校で科学技術や建築の基礎を学んだ経験と、自身の共感覚が原点となり、主にアートとデザインの分野でクリエイター活動を行う。

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE



放送大学 1学年 (24歳)

高橋 美帆 アニメーション

MIHO TAKAHASHI

第24回文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品
NHK Eテレ番組内 作品の15分特集
朝日新聞 日経新聞 名前掲載 (日経新聞は匿名)

切り紙アニメーションを参考としデジタルを用いた映像を制作。作品ごとにコンセプトに合わせ素材を選び、キャラクター、画面を構築する。生き物関連の出来事を主題とし、現在までは食物連鎖、捕食に関する死生観を中心に制作。手作業、手触りを残しながらも動画制作はリモートワークに対応させ、初めてアニメ制作する方々をサポートしながら初心者を中心にチーム制作を目指し、実行。今後はそれを持続可能にしていける事が目標。



東北芸術工科大学 修士1年 (22歳)

谷村 メイチンロマーナ 絵画

ROMANA MACHIN
TANIMURA

2017「蒼龍ワインラベルコンペVIII」晩翠画廊特別企画 あじろん賞
2018「東風展」東京都 銀座 樺画廊
2021 東北芸術工科大学 卒業制作 洋画コース最優秀賞

1998年東京都生まれ。東北芸術工科大学芸術文化専攻複合領域在学中。ウルトラマンや仮面ライダーといった昭和のヒーロー。二次元の世界で活躍するこれらの架空のヒーローを三次元の立体として表現したソフビやフィギュア。こうした立体をカートゥーンと融合させ絵画に作りかえることにより、ストーリーの始まりを観る人に感じさせアートの文脈に何らかの影響を与える作品を作るのではないかと思います制作をしている。

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE



日本大学 学士2年 (19歳)

玉名ラーメン 音楽

tamanaramen

1st EP「空気」リリース (2019年)
2nd EP「organ」リリース (2019年)
未確認フェスティバル 審査員特別賞受賞 (2019年)

2001年生まれのproducer兼singerのHikamと姉でありvisual artistのHanaによる音と映像の姉妹ユニット。トラップからアンビエント、ハウスまでをも内包したアブストラクトなトラックに、ポエトリーライクな浮遊感漂うラップがのるサウンドと文学的な詩の世界に注目が集まる。音に合わせさり浮遊感のある映像で独自の世界を拡張し続け、様々なジャンルやシーンを超えて活動している。



学習院大学 学士4年 (24歳)

筒 (tsu - tsu) インスタレーション / ドキュメンタリーアクティング

tsu-tsu

2018年アトスペース「F/Actory」設立・運営開始
2019年文科省の支援を受け欧州、中東、北米でコミュニケーションのリサーチ実施

ドキュメンタリーアクター。F/Actory主宰。演技、映像、都市空間を用いたプロジェクトを展開する。「人間はツツだ。気を抜けば固定観念や言葉でつまり、終いにはヘイトしか吐かなくなる。」“存在を奪う力”に満ちたこの世界、あらゆる存在の危機は他人事ではない。役は僕にあり得た並行世界。僕は演じ、家も、都市も、この地球さえも演じさせる。そして、存在し直す。存在し続ける。

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE

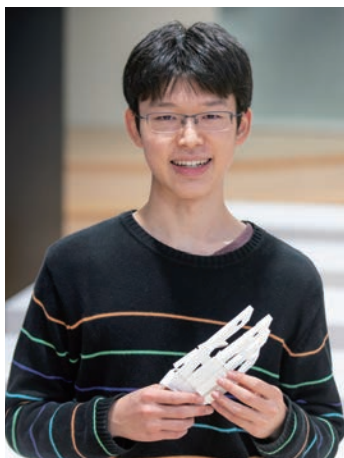


東北芸術工科大学 大学院 修士2年(23歳)

土田 翔 TSUCHIDA SHO
絵画 / インスタレーション

最上川芸術祭 2020 ENCOUNTER - 最上川に刻む・土田翔展
アートアワードトーキョー丸の内 2020 小山登美夫賞
美術新人賞デビュー 2021 入選

私には2人の自分が存在します。古典や伝統を重んじ、さらにそれを乗り越えるために必然的に様々なメディアや身体が介在する必要があります。作品ではモノの本来の扱い方や定型であることに疑問を持ち「行為」を表現の根源とします。日本画家小松均による「直写」という描画行為に基づき、「アクションペインティング」などの方法論を取り入れ、身体行為を作品の中心に置くことによる拡張された絵画の今日的展開を模索します。



東京都立大学 修士1年(22歳)
手塚 蒼太 SOTA TEZUKA
ロボット

JAMES DYSON AWARD 2018 国内第2位
国際会議 IROS2018 にて発表
日本機械学会 畠山賞

ハードウェア部分に主眼を置いたロボットの研究・開発を行う。今までにない斬新な機構の開発を目指し活動中。代表作品に、紙のみで構成されたロボットハンド「Origami-Hand」

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE

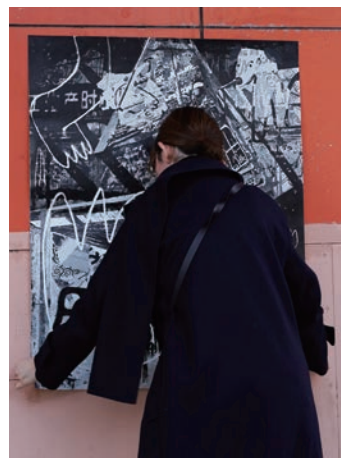


富山市立富山ガラス造形研究所 2年(23歳)

寺澤 季恵 Kie Terasawa
彫刻 / インスタレーション

多摩美術大学美術学部工芸学科ガラスプログラム卒業

吹きガラスをメインとするミクストメディアの彫刻・インスタレーションを制作。近年では『生命感』を大きなテーマとしている。



武蔵野美術大学 修士2年(25歳)
富永 華苗 KANAE TOMINAGA
版画

第43回全国大学版画展 優秀賞
武蔵野美術大学卒業制作展 優秀賞
第44回全国大学版画展 優秀賞

1995年生まれ。武蔵野美術大学大学院造形研究科修士課程美術専攻版画コース在籍。日常を通して触れ合う言葉から出てくるイメージと社会が持っている元のイメージ(言語から出てくる普遍的なイメージ等)の間に生じるズレを、版画が出来上がるまでのレイヤー構成から刷りまでのプロセスを通して新しいイメージを作り、言葉が持つ立体的な可能性を追求しています。

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE



名古屋市立大学 学士3年(21歳)

中川 朝子 ASAKO NAKAGAWA
小説

第7回日経「星新一賞」学生部門最終選考会進出
第8回日経「星新一賞」学生部門優秀賞受賞

2000年生まれ、愛知県在住。大学進学を機に創作活動始める。主にSFを書く。医学を軸としたフィクションの構築、神話や民話・伝承の科学技術による再解釈に取り組んでいる。現在は新人賞受賞を目指して日々執筆を行う。中日新聞にSFショートショートを連載すること、ヒューゴー賞長編小説部門を受賞することが人生の目標。



筑波大学 修士2年(24歳)

中山 佳保子 KAHOKO NAKAYAMA
インスタレーション

SICF21 グランプリ受賞

1997年山口県生まれ。筑波大学人間総合科学芸術院芸術学学位プログラム 上浦佑太構成研究室修士2年。形の作り方そのものを開拓・拡張することを軸とした領域に所属。「気付きの増幅」を自身のテーマとして制作を行い、身の回りのものや現象に潜む些細な要素を抽出・強調することで生まれる新たな造形表現を模索している。

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE

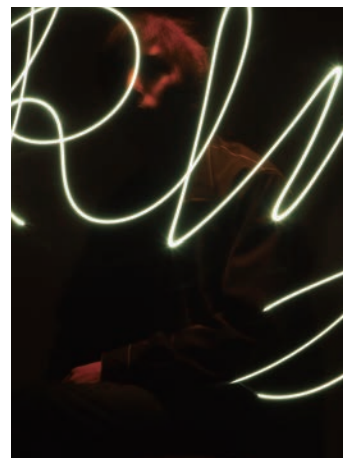


東京藝術大学大学院 修士1年(22歳)

成定 由香沙 narisada yukasa
建築

せんだいデザインリーグ 2021 日本二
全国合同建築卒業設計展「卒、21」最優秀賞
JIA 神奈川 学生卒業設計コンクール 古澤大輔賞

1998年神奈川県生まれ。東京藝術大学大学院 美術研究科 建築専攻 在籍。建築と映画の相違点としてのいまここにあるという性質と共通点としての触覚的受容に着目し、建築における新たな形態と体験を思索する。



情報科学芸術大学院大学 修士2年(24歳)

西田 騎夕 NISHIDA KIYU
メディアアート

国際会議 NIME 2020 口頭発表
ISCA2019 デジタルコンテンツ部門 入選
北九州デジタルクリエイターコンテスト 2020 入選

1996年 東京生まれ。情報科学芸術大学院大学メディア表現研究科に在籍。『社会の変化や技術の革新によって日々更新されていく現実に向き合い、さらに新しい現実の可能性または変化の中に埋没した現実を技術を以て記述する。』このテーマのもとパフォーマンス作品やフィジカルな作品の制作、研究発表を行う。

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE



東京藝術大学大学院 修士2年(休学中)(23歳)

西村 梨緒葉 RIOHA NISHIMURA インスタレーション

2020「Emergency Call」参加

1996年生まれ。鑑賞／上演／再生をキーワードに、鑑賞プロセス自体が、物語を上演したり再生することでもあるような作品形式について考えている。おもに声やその編集、演出、空間を作品制作に用いる。多摩美術大学 情報デザイン学科メディア芸術コース卒、東京芸術大学大学院映像研究科メディア映像専攻所属。



情報科学芸術大学院大学 修士2年(25歳)

ばいそんもりした BISON VR/AR/MR/xR

総務省異能vation 異能β認定
ADAA2019 エンタメ部門 大賞
Ars Electronica 2020 出展

1995年生まれ。情報科学芸術大学院大学(IAMAS)在学。趣味レベルでは、電子工作、モーショングラフィックス、プログラミング、デジファブ、Web制作、など、雑食なものづくりを行う。中でも現在は、xR技術を用いたアプリケーションの開発に夢中。からだをコピペして遊ぶARアプリケーション《ARama!》の開発を起点とし、xR領域におけるデザインを研究している。まともなプロフィール写真はまだない。

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE



東京藝術大学 修士2年(23歳)

長谷川 彰宏 AKIHIRO HASEGAWA 絵画

三菱地所 × 東京藝大ライブイベント
docomo 広告イベント dusty car
シブヤスタイル vol.18

1997年生まれ。2019年に比叡山西教寺の四度加行を満行。藝大デザイン科にてデザインを学びつつ、仏教の原体験を作品に昇華する道を模索し、画家として活動している。文化(仏教やアート)と社会の接点(デザインや事業)をいかに結合するかが人生で考えていきたい事。“よもぎと実感”が最近のテーマ。



国立音楽大学 修士1年(22歳)

長谷川 白紙 HAKUSHI HASEGAWA 音楽

20年5月、EP『夢の骨が襲いかかる!』発表
19年11月、アルバム『エアにに』発売

1998年生まれ、音楽家。2016年頃よりSoundCloudなどで作品を公開。19年11月に1stアルバム『エアにに』をリリース。20年5月弾き語りカバーアルバム『夢の骨が襲いかかる!』を発表。知的好奇心に深く作用するエクスペリメンタルな音楽性ながら、ポップ・ミュージックの肉感にも直結した衝撃的なそのサウンドは、新たな時代の幕開けをも感じさせるものとなっている。

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE



多摩美術大学 修士2年(25歳)

花形 慎 SHIN HANAGATA パフォーマンスアート

「トランスペアレンタルコントロール」新宿眼科画廊
「アジアデジタルアート大賞受賞者展」福岡アジア美術館
「Augmented Human 2018」ソウル国立大学

1995年、東京都生まれ。慶應義塾大学 SFC 卒業、多摩美術大学 修士課程 美術研究科 デザイン専攻 情報デザイン研究領域 在籍。テクノロジカルに加速する資本主義の中で揺らぐ「私」の身体性への関心のもと、肉体と意識、自己と他者、人間と非人間の境界をパフォーマンスに再構築する実践を行う。



東京藝術大学 修士2年(23歳)

冷水 乃栄流 NOERU HIYAMIZU 音楽 / クラシック / 作曲

第30回 芥川也寸志サントリー作曲賞最終候補
第89回日本音楽コンクール作曲部門2位
東京藝大アートフェス2021 グランプリ

1997年和歌山県生まれ。現在、東京藝術大学修士課程作曲専攻在学中。現代音楽を中心に幅広いジャンルにて活動。人間の文明が崩壊した後の世界を描く「ポスト・アポカリプス」をテーマに創作を行う。また、邦楽器を用いた作品も多く楽譜出版も行っている。作品は様々な個人、団体によって演奏され再演・委嘱も多い。

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE



京都大学 学士4年(21歳)

保谷 聖耀 SEIYO HOTANI 映画

カナザワ映画祭2020「期待の新人監督」グランプリ

1999年岐阜県生まれ。高校時代から映画制作を始める。現在は京都大学で宗教哲学を学びながら映画を撮り続けている。大学二年生の時に監督した映画「クールなお兄さんはなぜ公園で泥山を作らないのか」がカナザワ映画祭2020「期待の新人監督」にてグランプリを受賞。



京都芸術大学 修士1年(22歳)

松田 ハル MATSUDA HAL 版画 / VR

2021年 VIRTUAL ABSTRACTION 東京文華連邦 DOGO 個展
2021年「明滅 / 通電」 東京 プライベート

1998年生まれ。筑波大学芸術専門学群版画専攻卒業後、京都芸術大学大学院グローバル・ゼミに在籍。版画とVRを組み合わせた、「VR版画」を制作している。現実と仮定の空間を鑑賞者が体験することで、新しい鑑賞体験を展開している。

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE



Royal College of Art 修士1年(9月入学予定)(22歳)

Maya Erin (Masuda) Maya Erin メディアアート

shortlisted-Alpine Fellowship Visual Art Prize 2021
co-founder メディア批評誌 i+med(i/e)a
curated・Group Exhibition "Sweep-Space-Surface"

New Mediaと、それを形作る人間の欲望を主題に制作を行ってきました。作ることを通して芸術について考え続けています:) 6月に日/英メディア批評誌 i+med(i/e)a 設立。制作では、機械という存在を外側(彫刻的側面)と内側(回路/考古学的側面)から再考することで、その存在の環境との境界線や、表象・造形に見られる特定の崇高を捉え直します。



東京大学 学士3年(21歳)

村本 剛毅 Goki Muramoto メディアアート

Solo show "Selfie as Dance(2020)", "Lived Montage(2021)"
IVRC 2020 Grand prix
VRSJ 学術奨励賞

山口県生まれ。東京大学 工学部 電気電子情報工学科在籍。主な作品は、目を瞑ったまま、映像をみるという矛盾的な体験を可能にする装置《Imagraph/ 瞳内映像投影装置》、偶然自分と同じものをみている他者の視界がリアルタイムに自らの視界へモンタージュ(編集)される環境《Lived Montage》、時間に関する人間拡張を試みる《Realtime Slowmotion》など。

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE



東京藝術大学大学院 修士2年(23歳)

室元 拓人 TAKUTO MUROMOTO 音楽 / 作曲

自作自演コンサート「Ayatori」開催
学内にて安宅賞・同声会賞受賞
第37回現音作曲新人賞入選

1997年生まれ。現代音楽をフィールドに活動する作曲家。音に潜む様々な「ノイズ」に魅せられ、以来ノイズを素材とした創作を行っている。近年は、日本の離島や秘境の風土・宗教観を、ノイズと音楽を用いて表現することをテーマとしている。作品は、藝大フィルハーモニア管弦楽団、フラックス弦楽四重奏団(アメリカ)など、国内外の団体・個人によって演奏されている。



coconogacco 4年次(21歳)

八木 華 HANA YAGI ファッション

第91回装苑賞最年少の17歳でファイナリストに選出
ITS2019 ファッション部門最年少ノミネート
Vogue Talents で作品が紹介される

1999年東京生まれ。都立総合芸術高校卒業後coconogaccoで学ぶ。2019年に欧州最大のファッションコンベンションInternational Talent Supportファッション部門に最年少の19歳でノミネート。

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE



武蔵野美術大学 学部2年(19歳)

安田 杏
映画

YASUDA AN

高校在学時からフィルム映像やドキュメンタリー、pvなどを制作
大学一年に自身初の短編フィルム映画「WAKE UP」を制作

2001年東京生まれ。武蔵野美術大学映像学科に在学。両親の影響で幼い頃から映画や音楽、本などに触れて育つ。小学生の頃から映画監督という職業を意識するようになり中学生の頃には映像制作を志す。美術高校に進学。絵画などの美術を学び、実験フィルム映像やpvなどの制作を始める。3年時に武正晴監督を密着撮影。映画作りの生の現場を体験する。大学に進学後、映画制作を始め全編8mmフィルム撮影で初の短編映画を制作。



東京藝術大学 修士2年(23歳)

山縣 瑠衣
絵画 / 視覚芸術

RUI YAMAGATA

2020年 個展“ATLAS”(JINEN GALLERY)
2020年“ノアの安産祈願”(TAV GALLERY)
2021年“UGOのロードモデル vol.1”(新大久保 UGO)

1997年生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻在籍。
私たちが普段目にする肌や地図といった「表面」をいかに扱うかを、主に絵画をきっかけにして考えています。最近では、食材と画材のレシピの類似から着想を得た「植物性絵画」のシリーズを制作しています。

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE



愛知県立芸術大学大学院 修士1年(22歳)

山崎 結子
写真 / メディアアート

YUIKO YAMAZAKI

全国大学版画展 優秀賞
SHIBUYA PIXEL ART AWARD Beyond Pixel Art 賞

1998年大阪生まれ。愛知県立芸術大学大学院美術研究科在籍。
自己に対する内外の関係性や記憶や認識の不明瞭さに焦点を当て、アートとして表現活動を行う。



筑波大学 学士2年(19歳)

山名 琢翔
テクノロジー

TAKUTO YAMANA

2018年度末踏 IT人材発掘・育成事業スーパークリエイター
World Maker Faire New York 2018 Editor's Choice
DMM.make AKIBA スタートライン

メイカー。中高生時代には人型ロボットとその制御ソフトウェアをチームで製作し、大学入学後は個人で気の向くままにものづくりをしている。主に趣味であるスピードキューブ(執筆時点で2x2x2平均部門日本ランキング16位)とものづくりを掛け合わせ、ロボットやパズル、ガジェットを製作している。その他の趣味としてプログラミングがあり、競技プログラミングのコンテストに出たり、ゲームAIを独自開発したりしている。

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE



武蔵野美術大学 修士2年(24歳)

YUSUKE WASHIMI YUSUKE WASHIMI
ファッション

HATRA SS2020 : Accessory
TianzhuoChen : Costume
逆行 崎山蒼志 Jacket : Sculpture

1996年静岡生まれ。武蔵野美術大学造形学部空間演出デザイン学科ファッションコース卒業。現在は同大学院造形研究科美術専攻彫刻コースに在籍。幼い頃からの強い変身願望を原動力に活動を行う。「憑依と変身」をテーマに身につけることができる作品を制作/発表している。日常の見え方の可能性を模索している。



早稲田大学 学士4年(21歳)

幸村 燕 Tsubakuro Yukimura
小説

2019年から同人出版サークル「メルキド出版」にて文学フリマで活動
『文芸思潮』76号にて全国同人雑誌推薦作

1999年8月11日生まれ。早稲田大学文化構想学部文芸・ジャーナリズム論系在学。毛沢東主義アナーキスト。
『文芸思潮』76号にて全国同人雑誌推薦作に選出。同人出版サークル「メルキド出版」などでの文学フリマの活動とウェブサイトnoteでの活動を中心に創作をおこなっている。また自己啓発本やビジネス書を哲学や文学など様々な観点から検討する読書会『「模範的日本人」になるための自己啓発読書会』を主催している。

KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP 5th GENERATION CREATORS PROFILE



東京藝術大学 修士1年(22歳)

横手 太紀 TAIKI YOKOTE
彫刻

タウンワークス 渋谷バルコ GALLERY X
Rabbit hole peeps ANAGRA
獣(第0章/交叉時点) 北千住 BUoY

1998年神奈川県逗子市出身。東京藝術大学彫刻科在籍。日用品や家電の動きなどを使った彫刻やインスタレーションを制作。ブルーシートが被された看板、風に飛ばされるビニール袋、壊れた塀など、生活の中で見かける不合理な物の在り方から、日常に存在する物の「野生的な側面」の可視化を試みる。

————— 以上、71 名 / 五十音順
※ 掲載情報は、2021 年 6 月現在のものです。



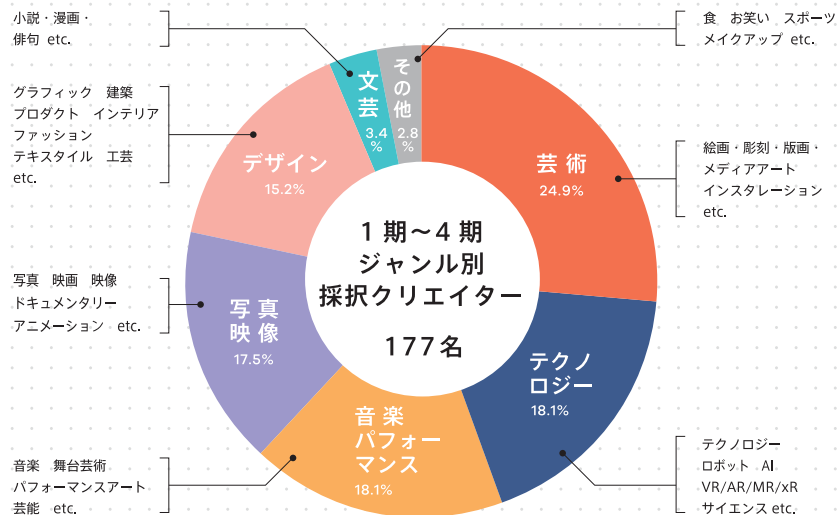
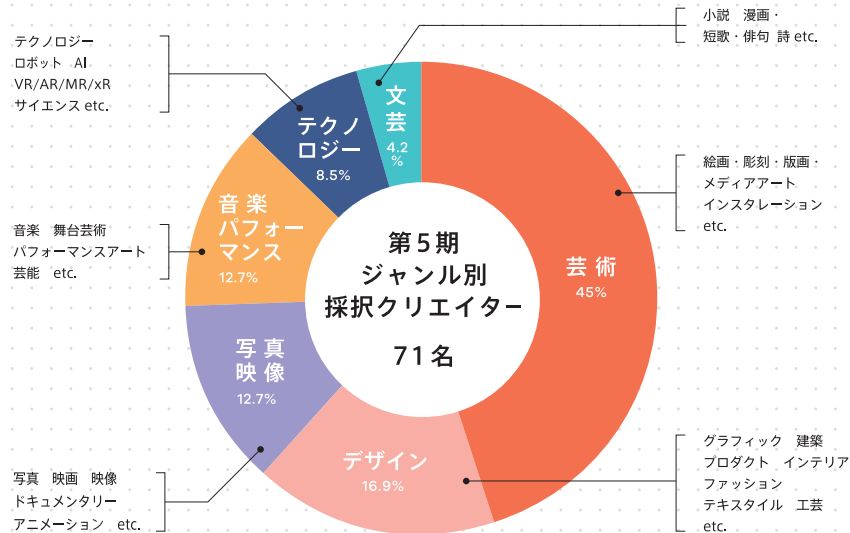
ONLINE PROFILE

クリエイター奨学金奨学生の
「作品の観覧」「活動情報」は、
上記 QR コードからアクセス
して下さい。



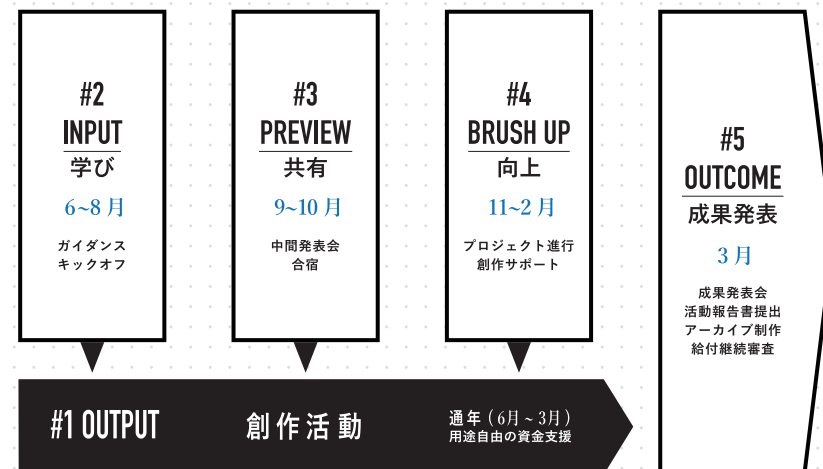
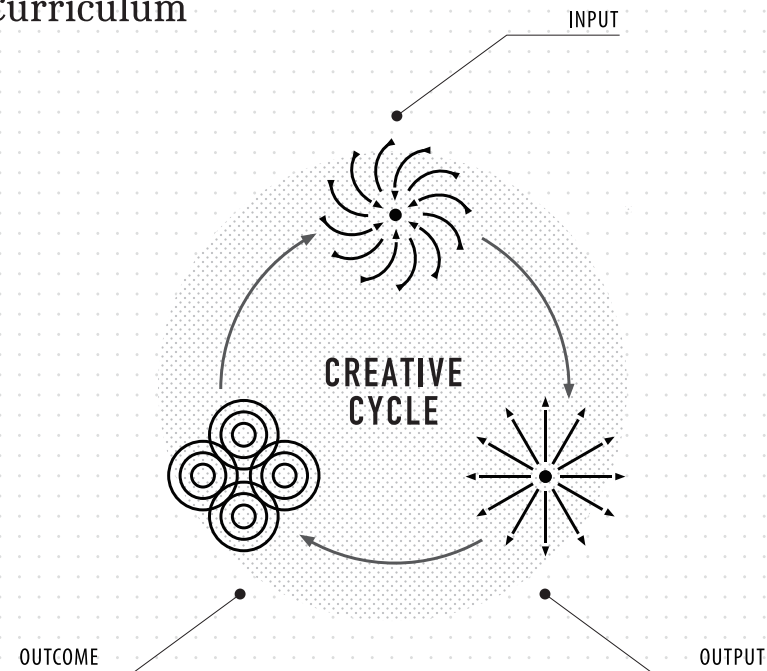
KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP

References



KUMA FOUNDATION CREATORS SCHOLARSHIP

Curriculum



KUMA EXHIBITION

2018

2018.3.24(Sat) - 3.25(Sun) | SPIRAL GARDEN & SPIRAL HALL



2019

2019.3.21(Thu) - 3.24(Sun) | SPIRAL GARDEN & SPIRAL HALL



2020

2020.4.19(Thu) - 5.22(Sun) | SPIRAL GARDEN & SPIRAL HALL

Canceled



2021

2021.4.27(Tue) - 5.31(Mon) | ONLINE





**KUMA
FOUNDATION**

CREATORS
SCHOLARSHIP

5th
GENERATION
CREATORS
PROFILE

2021 - 2022

クマ財団
クリエイター奨学金
第5期生 プロフィールブック

Date of Issue
Jun.01,2021

Publisher
Naruatsu Baba

Executive Editor
Asako Ishii

Issuance
KUMA Foundation

Limited Edition



KUMA
FOUNDATION
クマ財団